

よく似たくずし方をする文字を覚えよう② 文字編 その1

くずし字の中には、全く別の字にも関わらず、一見すると同じ形に見えてしまう文字、よく注意しないと見間違えてしまうくらい似た形の文字があります。

そうした事例は実にたくさんありますが、今回は代表的ないくつかの文字を選んでみました。

\*掲載している文字は、当館所蔵の公文書から任意に選んだものです。

## ①相と拝

⇒この2つの文字は、「相成候」とか「拝啓」といったように文書や書翰の中に頻繁に登場します。そして、文字の途中までは筆の流れが同じ（よく似たくずし方）です。



相催候

この字はほとんどくずれていません



相成候

同じ「相」でもこれはくずされています。



拝啓

これは、「相」のように見えますが、注意して眺めるとカーブが中に入っています。この場合は「拝」です。



カーブが外に出ていくと「相」



カーブが中に入っていくと「拝」

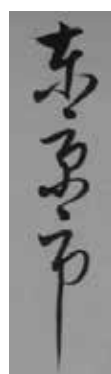
## ②東・車・奉

⇒東と車はほとんど同じ形をしていますので、くずし方も似ています。奉は、途中までは東や車と筆の運びが同じです。

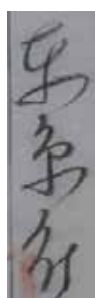


馬車

この字はくずれていません



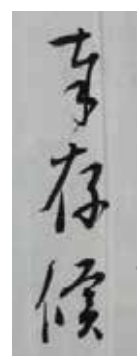
東京市



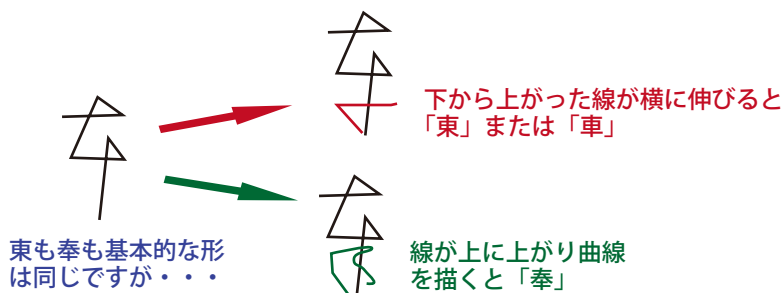
東京府



奉迎文



奉存候



\*文字のくずし方は何通りもあり、ここで紹介したものが全てではありません。また、紹介した事例以外にも特殊なくずし方をする場合がありますので、市販されている辞典類をあわせて参照されることをおすすめします。